子供と浮和雷動

先頭の新聞に左記の記事があった。物見高いのも新ぶ
まいる。僕は此點からつつも、子供には子供の
文学、即ち音階を勤め度いと思ん。ホイこれは
飛んだ我田引水、叱られな中にこれで失敬。

子供と子供たちは気を付けて見れば見る程面白
いものの滑稽なものである。此間、近所の長屋に居る
水屋の台所で三合許りの女の子が始めは誰の中の
水だらけな雑巾を振舞はしてかとしながら遊んで居
たが頓下的にその物の揺すりの揺すりの中に入れまして
た。次は何をするかと見て

子供たちが揺すりをたたなかり揺すりの揺すりの中
入へ込んた。そしていとどこの狭い為に鉢の
揺くのが面白くてかたからやらしいと子供たちが
向ふに走り子供はつでんどうに仰向け様にしり
ちつい水だからけのちやくをながめながら

ウァーと云ふわめきに次いで母親が叱咤の聲髒

十七
近在の同じ井戸端議員連の出張となりて嬉三三
分間は時ならず活劇を演し出た。始から遠く
で見て居た我輩は如何にも滑稽なので驚り笑つへ
が仏しのけ少し大々なら七十八つつから十一、
となると傍で見て居る大人の顔色に因って少しで
白い歯を見せると笑って悪いけをして仕
方がないものである。然でなくて友達や何かの
様子で時々存外に一時的にな調子ものとなり、輕
い話もふらふらと出る。この様な時には平素してはならぬと堅く禁じて
あった事などもふらふらと然したる悪事でないか
の様に思ふて大それた事を仕出かす事もよくある
大人は浅薄軽浮るものであるとか云ふのも目を見ると
して確固な人格を樹立するかと云ふには一に教
育の力と云へなければならばぬ。故に教育の足る
人々は矢張り子供の様で何時迄も軽浮な分子を以
つて居ることが能くあるものである。昨年の交番
燒打事件に面白半分で騒ぎ回はつて来た連中にも此
類のもののが頗る多い。近頃の新聞に左の様な記事が
あった。

事件公判延騒観

宣告前の被告
被告は皆無罪と云ふことにつき
執行猶豫の有無を尋ねし裁判長が人違へして

「私、は執行教育者にありますか。」など三十人。中には

は執行猶豫者にありましらず。lacey, は放火で本

も米村の助之を見直して。いは放火で本

から死刑であるのが酔酒して重懲役九年

で云ばれ等をよくし泣き出しさように

し云ばれ、球迷をよくし泣き出しさように

に一唱賛しして始めて己れの罪の決して軽からさ

し多く、者が何れも己れの罰の意を論ずる必要は

に云ばれ、「私、は執行教育者にありましらず。」と

「私、は執行教育者にありましらず。」と

ありません。と云い裁判長は向後か「今様

しても不可」、「私、は執行教育者にありましらず。」と

の間、裁判長は向後か「今様

の間、裁判長は向後か「今様

の間、裁判長は向後か「今様

の間、裁判長は向後か「今様
新夫婦の理科問答（下）

本郷生

一方は自他の興味を兼ね徹へ一方は他を損害し世雷動心が子供に殊に多く見られるのであるから子供を取り扱うものは一層の注意を此方面に要すと

云はねばならぬ。

四方の魚

此種中央アメリカ海岸に発見された新種の鰭魚は、水面に浮かびの上に浮かぶ物を食する様に居て、
司理、他に一対は水面下の物を食する様に居て、

同時にも両方を（空中と水中）見る事を得得仕舞。

右様ですか、それでは明晩御馳走致します、で

も貴性の分 лидерに御好でですね

婦人の目から見ればこそかも知れぬ。之に就て

面白いい話がある。吾輩は重ねて吾が御茶の水の

校に歌事掛であった時、全然歌事掛の一員が